エリア配置図

エリア番号	エリア名称
ク	景清洞

エリアの位置づけ

・秋吉台北側、リフレッシュパーク東側に隣接する洞窟。主要三洞窟の一つ。

・平家の武将、大庭景清が壇ノ浦の戦い後潜んでいたと伝えられる洞窟であり、観光コースとは別に、闇の生物・化石を探す洞窟探検コースがある。

・景清洞案内所が立地している。

エリア周辺の状況

・リフレッシュパークの芝生広場の奥に景清洞案内所入口があり、視認性が悪く無目的に訪れる利用者からは分かりにくい。

・アプローチ動線沿いには、三角田川が流れ、気持ちの良い自然景観が楽しめる。

・秋芳洞とは異なる洞窟探検コースがあるが、認知度が低く活用しきれていない印象。

・洞窟入口は、小規模ながらに趣のある印象を与えている。

ポートフォリオ分析に基く施設整備に関する課題抽出・整理

・総合的に、ソフト・ハード評価共に平均をやや下回る。

・16-1-ク.景清洞案内所は、ハード評価のうち老朽化判定は非常に低い。

・16-1-ク.景清洞案内所はソフト評価のうち実態調査は非常に低い値を示す一方、満足度調査では非常に高く、リフレッシュパークと同様に観光施設としてのポテンシャルは高い。ソフト・ハード両面でポイントを絞った整備検討が望まれる。

エリアのポテンシャル、今後の向かうべき姿

・秋芳洞・秋吉台エリアの特徴である主要三洞窟の一つとして、他の洞窟との差異化を図り、全体方針に沿った整備の実施が望まれる。

・宿泊機能がある程度充実しており、利用者満足度の高いリフレッシュパークに隣接する立地的ポテンシャルは高い。エリアを一体的に捉えた独自体験・コンテンツの強化など、ソフト面での改善検討が望まれる。

管理番号-棟番号-エリア番号		16-1-ク				エリア総合	全施設平均
施設名称		景清洞（景清洞案内所）					
ハード評価	老朽化判定	20.0					
	建築年数	31.1					
	災害危険度	25.0					
	耐震性能	25.0					
	バリアフリー性能	0.0					
	合計	20.2				20.2	21.3
ソフト評価	経済的評価	19.7					
	利用状況	16.7					
	実態調査	2.7					
	満足度調査	14.6					
	合計	13.4				13.4	13.9